

アルヴァ・アアルト — もうひとつの自然

Alvar Aalto — Second Nature



fig.1



fig.2



fig.3



fig.4

2018年9月15日(土) — 11月25日(日)

神奈川県立近代美術館 葉山 第2・3展示室

主催：神奈川県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網、
インターオフィス
協力：ルフトハンザドイツ航空、ルフトハンザカーゴAG、フィスカース ジャパン
後援：フィンランド大使館

An Exhibition by the Vitra Design Museum and the Alvar Aalto Museum

Vitra
Design
Museum

ALVAR
AALTO
MUSEO

Main partners

artek vitra.

Global sponsor

Microsoft

Main sponsor of the Japanese tour

iittala

開館時間：午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(9月17日、9月24日、10月8日は開館)

観覧料：一般1,200 (1,100)円 / 20歳未満・学生1,050 (950)円 / 65歳以上600円 / 高校生100円

* ()内は20名以上の団体料金です。中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。

*「アルヴァ・アアルト—もうひとつの自然」展をご覧の方は、同展の観覧券で同日に限りコレクション展「描かれた「建物」」もご覧いただけます。

*無料開館日：11月3日(土・祝)「文化の日」は、開催中の展覧会を無料でご覧いただけます。

*ファミリー・コミュニケーションの日(毎月第1日曜日：10月7日、11月4日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は割引料金(65歳以上の方を除く)でご覧いただけます。また同日は「会話を楽しむ日」となりますので、小さなお子様連れの方も、遠慮なくご覧ください。

*その他の割引につきましてはお問い合わせください。

アルヴァ・アアルト——もうひとつの自然

今年で生誕120年となる建築家アルヴァ・アアルト(1898-1976)は、モダニズムに自然の要素を取り入れ、人々の暮らしをより良くする建築や家具デザインなどを追求しました。彼のバイミオのサナトリウム(1933)やマイレア邸(1939)は建築における有機的な形態と素材の優れた相互作用を体現し、《アームチェア 41 バイミオ》(1932)や《スツール 60》(1933)は近代家具の展開に画期的な役割を果たしました。そして、ガラス器《サヴォイ・ベース》(1936)は、フィンランド・デザインのシンボルになっています。

アアルトの有機的な形態は、フィンランドの自然や風景から生まれたという従来の見方に加えて、本展では同時代の芸術家たちとの対話も重要であったという新しい視点を提示します。

ヴィトラ・デザイン・ミュージアムとアルヴァ・アアルト美術館が企画した本展は、2014年9月にドイツのヴァイル・アム・ラインにあるヴィトラ・デザイン・ミュージアムで始まり、スペインのバルセロナ、マドリッド、デンマークのオールボー、フィンランドのヘルシンキ、フランスのパリで開催された国際巡回展です。日本では約20年ぶりとなる本格的なアアルトの回顧展であり、オリジナルの図面や家具、照明器具、ガラス器、建築模型など約300点で、フィンランドでもっとも著名なこの建築家の生涯と作品を辿ります。

また、アルテックとイッタラの協力のもと、代表的な家具等を並べてアアルトのデザインを体験できる特設コーナー「アアルト ルーム / Aalto Room」を開設します。



fig.5



fig.6



fig.7



fig.8

葉山館への交通案内

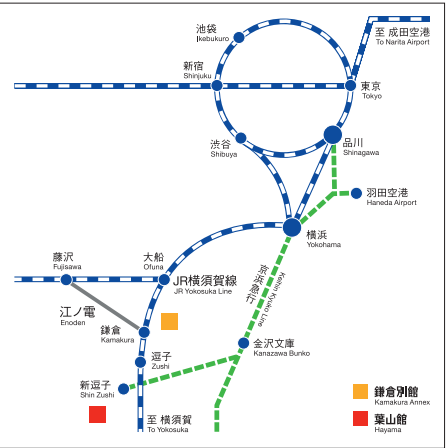
電車とバス：JR横須賀線「逗子」駅前(3番のりば)、または京浜急行「新逗子」駅前(南口2番のりば)から京浜急行バス「逗11、12系統(海岸回り)」で「三ヶ丘(さんがおか)・神奈川県立近代美術館前」で下車(所要時間約20分)。
車：横浜横須賀道路・逗子インターチェンジ、または横須賀インターチェンジからそれぞれ7～8km。



鎌倉別館は改修工事のため、2019年9月(予定)まで休館しています。

葉山館駐車場(有料)のご案内

営業時間：午前8時30分～午後6時(入庫は午後4時30分まで)
駐車料金(1時間/追加は30分毎に加算)：普通車400円、大型車1,200円
※「アルヴァ・アアルト——もうひとつの自然」展の観覧券をお持ちの方は1時間無料です。



- fig.1 アトリエのアアルト 1945年 Aalto in his studio, 1945 ©Alvar Aalto Museum photo: Eino Mäkinen
 - fig.2 アルヴァ・アアルト《ヴィープリ(ヴィーボルグ)市立図書館》1927-1935年 カレリア(現ロシア) Viipuri (Vyborg) City Library, Vyborg, Karelia (today Russia), Alvar Aalto, 1927-1935 ©Alvar Aalto Museum photo: Gustaf Welin
 - fig.3 アルヴァ・アアルト《ニューヨーク万国博覧会フィンランド館》1939年 Finnish pavilion, World's Fair, New York, 1939 ©Alvar Aalto Museum, Esto Photographics photo: Ezra Stoller / Esto Photographics Inc.
 - fig.4 アルヴァ・アアルト《ルイ・カレ邸》リビング・ルーム 1956-1959年 バジシュ=シュル=ギヨンス(フランス) Living Room, Maison Louis Carré, Bazoches-sur-Guyonne, France, Alvar Aalto, 1956-1959 ©Alvar Aalto Museum photo: Heikki Havas
 - fig.5 アルヴァ・アアルト《スツール 60》1933年 Stool 60, Alvar Aalto, 1933 ©Vitra Design Museum photo: Jürgen Hans
 - fig.6 アルヴァ・アアルト《サヴォイ・ベース》1936年 Savoy Vase, Alvar Aalto, 1936 ©Vitra Design Museum, Alexander von Vegesack
 - fig.7 アルヴァ・アアルト《ティー・トロリー 900》1937年 Tea Trolley No 900, Alvar Aalto, 1937 ©Vitra Design Museum photo: Jürgen Hans
 - fig.8 アルヴァ・アアルト《ペンダント・ランプ A331 ビー・ハイヴ(ハチの巣)》1953年 Pendant Lamp A331, "Beehive," Alvar Aalto, 1953 ©Vitra Design Museum photo: Andreas Jung
- ※画像はすべてヴィトラ・デザイン・ミュージアムの提供です。

関連イベント

○館長によるオープニング・トーク
「アルヴァ・アアルト——もうひとつの自然」展
&コレクション展「描かれた「建物」」
日時：9月15日(土) 午後2時～3時
場所：神奈川県立近代美術館 葉山 展示室

○ゲスト・トーク
講師：和田菜穂子(建築史家)
日時：11月10日(土) 午後2時～3時
場所：神奈川県立近代美術館 葉山 第2・3展示室

○担当学芸員によるギャラリートーク
日時：9月29日(土)、10月13日(土)、10月27日(土)
各日午後2時30分～3時
場所：神奈川県立近代美術館 葉山 第2・3展示室

○近代美術館入門講座 共催：葉山町
「アルヴァ・アアルトの建築と家具デザイン」
講師：靱山昌夫(当館普及課長)
日時：9月29日(土) 午前10時～11時
場所：葉山町福祉文化会館 大会議室

※すべて申込不要、参加無料。ただし美術館展示室で行われるイベントは「アルヴァ・アアルト——もうひとつの自然」展の当日観覧券が必要です。
※詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。なおイベント内容は変更される場合があります。

同時開催 第1展示室

コレクション展「描かれた「建物」」

建物をテーマに、ピーテル・ブリューゲル、ヘンリー・ムーア、松本竣介、佐伯祐三など16世紀から現代までの油彩、版画、彫刻を展示します。

※レストランやショップで2,000円以上ご利用いただいた方は、1時間無料(併用で最大2時間無料)となります。
※貸切バス等(定員11名以上)でご来館の場合、駐車場の事前予約および前面道路の通行許可申請が15日前までに必要です。団体名、連絡先、来館日時、台数をご連絡ください。Tel. 046-875-2800

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
2208-1 Isshiki, Hayama,
Kanagawa 240-0111 JAPAN
Tel: 046-875-2800 Fax: 046-875-2968
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>
[Twitter](#) @KanagawaMoMA

